

平成30年第1回定例会 自民党代表質問 平成30年2月26日

第1回定例会は2月26日本会議場で開かれました。今回は中央区選出の中川賢一市議が自民党を代表して質問に立ち、秋元市長はじめ理事者に「子ども育成支援」「女性の活躍推進」「経済・雇用」などについて見解をいただきました。

1.市長の政治姿勢

(1) 財政運営について

- 一般会計予算規模が1兆円を超えることに対する認識について
- 将来的に持続可能な財政構造を堅持するための見通しについて
- 今後増大する公共施設の更新ニーズに対応した財政運営について



(2) 海外との都市外交について

- 市長の都市外交成果について
- 都市間交流を活かした経済・観光の活性化について

(3) 都市ビジョンの明確化と共有について

- まちづくり戦略ビジョンが描く都市像の明確化について
- 「新たな価値を生み出す創造とチャレンジ」を具体化する仕組みについて
- 「札幌型ライフスタイル追求」に向けた戦略について
- 「世界に誇る環境首都の実現」について

(4) オリンピック・パラリンピック招致の先にある札幌の姿について

- ウィンタースポーツ都市の確立と効果的な推進のあり方について
- スポーツリズムの推進と観光マネジメント体制について

(5) 新たな都市づくりに向けた施策の推進について

- 新たなMICE施設の整備について
- 交通施策について
- 日ハム新球場建設構想に伴う対応について
- 幅広い世代の参加と町内会に関する条例の検討について

2.産業等の施策の推進について

- 中小企業の事業承継について
- 医療分野の産業振興について
- 雪対策分野への総合的な取り組みについて

3.子どもの育成支援について

- 待機児童対策について
- 聴覚スクリーニング体制整備と方向性について

4.災害対策について

- 総合防災訓練のあり方について
- 厳冬期を想定した訓練の実施と対策について

5.医療のあり方について

- 市立病院の果たすべき役割と経営体制の再構築について
- 在札外国人への対応について

6.慰霊碑等の今後のあり方について

- 慰霊碑等に対する認識について
- 月寒忠霊塔への対応について



質疑一部抜粋

中川議員 北海道日本ハムファイターズ新球場建設構想に伴う対応で、道立真駒内公園におけるファイターズの新球場建設の検討にあたり、札幌市はどのようなスタンスで関わっていくつもりなのか、また、地域の不安の声に足して、どのように対応していくつもりなのか。

秋元市長 球団のボールパーク構想の真駒内公園での整備案をめぐって市が2月16日から25日に行ったアンケートについて、結果は集計中だが、緑の保全や周辺の交通渋滞に配慮を求める意見がある一方、地域の活性化への期待があることも分かった。

中川議員 プロ野球北海道日本ハムが本拠地を移転した後、これまでの調査・検討を踏まえ、仮にファイターズが移転した場合、札幌ドームの収支や経営にどのような影響があるのか。その上で、札幌ドームのその後の経営の方向性や札幌市財政への影響について、市長はどのように考えているのか。

秋元市長 現時点で、移転による影響を直ちに回復する状況にはない。経費削減を含めて経営改革案の検討を深める。

中川議員 新生児に聴覚障害がないかを調べるスクリーニング検査に対し、速やかに公費負担を実施すべきだ。

岸副市長 2016年度は約7割の新生児が検査を受けている。他の政令都市での事業効果や課題を把握し、検討していく。

中華民国(台湾)高雄市と「観光交流に関する覚書」調印

中華民国(台湾)は日本に対する親近感が高く、とりわけ北海道・札幌市への観光意欲が高いことから、台湾からはよさこいソーラン祭りへの参加やさっぽろ雪まつりでの大氷像の制作協力のほか、札幌市からも連年ランタンフェスティバルへよさこいチームを派遣するなど、交流が盛んです。経済面での連携強化に向け、昨年12月18日、台湾南部の中核都市高雄市を訪れ、札幌市と「観光交流に関する覚書」に調印しました。

参加したのは、札幌市議会の超党派でつくる「札幌市議会日台

友好議員連盟」会長の私、他議員6名と岸光右札幌市副市長をはじめとする観光局職員4名と星野尚夫札幌観光協会会長です。

現在、札幌(新千歳空港)～高雄間では毎日直行便が運航しているほか、2月開催の高雄国際マラソン参加や夜景を中心とした観光誘致にも双方とも尽力しています。

札幌市と高雄市や両観光協会は、それぞれの魅力を磨く場の設定について、今後、提言・検討していきます。



岸副市長とともに高雄市政府庁舎で開かれた調印式及び意見交換会に出席



高雄市体育処で監副処長による歓迎と高雄国際マラソングッズの提供



高雄市議会で訪問団代表としてあいさつ。康議長から2018年日台交流サミットへの出席案内が手渡される